

自己点検・評価シート

整理No.	1-(1)-②	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	自立と創造の学校づくり推進事業	所属名 教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む
	施策	1102	教育の充実

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全小・中学校
意図 (どのような状態にするために)	市立小中学校が児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえ、自立し創意工夫ある学校づくりを進展させることにより、教育目標の達成を図る。
手段 (どうするのか)	学校が企画した教育活動及び取り組み内容に応じて、裁量の予算を拡充し、意欲や工夫・考え方を審査して予算配分する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績		全小中学校、5中学校区で実施する。	全小中学校、5中学校区で実施する。	全小中学校、5中学校区で実施する。	全小中学校で実施する。	全小中学校で実施する。
		小学校44校、中学校18校、4中学校区(東・湖南学園・福部・用瀬中学校区)で実施した。	小学校44校、中学校18校、3中学校区(東・湖南学園・福部中学校区)で実施した。	小学校44校、中学校18校(分校含む)、5中学校区で実施した。	小学校44校、中学校18校(分校含む)	/	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	22,237	21,683	21,374	21,527	19,362	
	直接経費 A	19,763	19,455	19,188	19,270	19,362	
	直接経費の財源内訳	国・県					
		地方債					
		その他				12,308	
一般財源	19,763	19,455	19,188	6,962	19,362		
人件費 B	2,474	2,228	2,186	2,257			
職員数の内訳	正規職員	0.33	0.30	0.30	0.30		
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00		

4. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>1 事業の概要 地域に開かれた魅力ある学校づくりを実現するため、学校の創意工夫・自主的な取組に関して、各学校が企画立案したものを教育委員会が評価・査定をし、必要な予算を措置する。市は、鳥取市小学校教育研究会及び鳥取市中学校教育振興会に委託して事業を実施する。</p> <p>2 事業の成果</p> <p>① 一律支援予算による事業 従来より効果的に展開されてきた事業並びに日常の教育活動について、児童・生徒数に応じて自主的に学校が運営できる予算として配分した。</p> <p>② 特別支援予算による事業 特色ある学校づくりのために独自に企画立案した計画書をもとに成果が期待される事業に対して、評価・査定を行った上で予算配分した。</p>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	事業を実施した学校・中学校区数		目標	67	67	60	66	60
				実績	66	65	66	60	
	(指標の説明)								
	2		目標						
実績									
(指標の説明)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	事業を実施した学校・中学校区数		99%	97%	110%	91%	
	2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	すべての小中学校に対して、特色ある学校づくりを行うことを支援していくことは、本市の目指す子ども像の実現に向けて必要不可欠である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	各学校が児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性を踏まえ本事業に取り組むことは、魅力ある学校づくりに直接つながるものであり、大変有効である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	学校が作成した事前協議書をもとに、実施計画を審査し予算配分を行うことで、より目的を明確化した必要性のある事業展開となっている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各学校の配分予算を、児童生徒数を基本とする一律支援予算と、各校のより特色のある取り組みを支援する特別支援予算で構成しており、公平性のある予算配分となるよう留意している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	地域に開かれた魅力ある学校づくりを実現するため、学校の創意工夫・自主的な取り組みを進めていく必要がある。本事業を活用した魅力ある学校づくりに対しての地域の評価も高い。	
今後の課題・方向性	本事業により、創意ある教育活動が推進されており、児童・生徒の学力向上はもとより、それぞれの学校及び地域の実態に応じた魅力ある学校づくりが進んでいる。今後は、小中一貫教育推進プランを基盤とした中学校区の特色ある取組への支援拡充も含め、他事業との関連性を見直し、事業内容の再構築を図りながら一層充実させていきたい。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	それぞれの小中学校が特色ある取組を展開しており、個性的で魅力ある学校づくりという点で評価できる。校長の意向が取組内容に大きく影響するとのことで、あとは、校長が交代した後のそれぞれの小中学校の取組の継続性をどうするかを、それまでの取組を無駄にしないためにも考えて頂きたい。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	各校独自の事業について、事前・事後の評価が実施されており、全体として事業改善のプロセスは適切に機能していると評価できる。一方で、個々の学校の事業は数多くの目標と事業が混在しており、評価の妥当性には限界があるものと考えられる。また、学校長のリーダーシップが発揮される一方で学校としての取り組みの継続性が課題として指摘されており、両立に向けた取り組みが期待される。
--------	--